

あいち森と緑づくり事業 2021 年度予算：2,807,551 千円、2022 年度予算：2,580,683 千円

1 森林整備事業（農林基盤局） 2021 年度予算：2,014,111 千円、2022 年度予算：1,794,690 千円

1) 人工林整備事業 2021 年度予算：1,938,985 千円、2022 年度予算：1,719,564 千円

ア) 人工林の間伐 2021 年度予算：1,809,183 千円、2022 年度予算：1,600,435 千円

林業活動では整備が困難な人工林の間伐を県が主体となって行う。中でも、防災・減災やライフライン確保の観点から、道路や人家への倒木、落枝や倒木による配電線の切断等の危険性が高く、早急に整備が必要な道路沿い・集落周辺や、流木対策のため間伐が必要と認められる河川沿いの森林の整備を重点的に実施する。

事業対象地	内容	全体事業量 (10年間)	2021 年度計画	2021 年度実績（見込み）		2022 年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
・林業活動では整備が困難な 16～60 年生のスギ、ヒノキ人工林 ( <u>道路沿い・集落周辺・河川沿いを重点的に実施</u> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査、測量等</li> <li>強度の間伐（原則 40%以上）</li> <li>伐採木の整理、集積（必要に応じて）</li> <li>伐採木の移動（道路沿い、集落周辺、河川沿いにおいては、原則、安全な場所まで移動）</li> <li>作業道の整備（作業効率向上のため）</li> </ul>	16,000ha	1,600ha	犬山市、瀬戸市、岡崎市、幸田町、豊田市、設楽町、東栄町、豊根村、新城市、豊川市（10 市町村）	1,282ha	1,600ha

※ 森林所有者と県が転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。

イ) 次世代森林育成 2021 年度予算：129,802 千円、2022 年度予算：119,129 千円

森林が有する公益的機能を、将来にわたって持続的に発揮させるため、高齢化したスギ・ヒノキ人工林の皆伐後に行う花粉症対策苗木の植栽や、植栽後の獣害対策及び保育に対して支援することにより、森林の若返りと花粉発生源対策を推進する。

事業内容	内容	全体事業量 (10年間)	2021 年度計画	2021 年度実績（見込み）		2022 年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
スギ・ヒノキ人工林を皆伐した跡地において、森林所有者等が行う植栽等に要する経費を定額助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症対策苗木（少花粉のスギ・ヒノキや広葉樹の苗）の植栽</li> <li>獣害防止柵等の設置</li> <li>保育（下刈り・除伐）</li> </ul>	450ha	47ha	豊田市、設楽町、東栄町、豊根村、新城市（5 市町村）	6ha	47ha

※ 森林所有者と県が皆伐や転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。

2) 里山林の整備 2021 年度予算：75,126 千円、2022 年度予算：75,126 千円

手入れが行き届かず、竹の繁茂や枯損木が多く、鬱蒼として人々に利用されにくくなった都市近郊の里山林の整備を行う市町村に対する支援を行うことで、地域住民やNPO等が里山林を保全・活用し、快適な環境の形成や生物多様性の保全等の公益的機能を適切に発揮させるとともに、環境学習や保全活動の場として活用するなどの地域のニーズを支援する。

事業対象地	内容	全体事業量 (10年間)	2021 年度計画	2021 年度実績（見込み）		2022 年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
・集落周辺等の里山林で、長期間手入れのされていない森林 ・整備後、地域住民や NPO 等の活動団体による保全活用が計画されている里山林	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林調査、測量</li> <li>施設整備（管理道、作業小屋、森林整備機材等）</li> <li>地域住民等では実施が困難な森林整備</li> </ul>	40 箇所	4 箇所	瀬戸市、東郷町、常滑市、岡崎市、豊田市（2 箇所）、豊橋市（6 市町）	4 箇所 (ほか継続 3 箇所)	4 箇所

※ 森林所有者と市町村と地域活動団体が、皆伐や転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。

2 都市緑化推進事業（建設局、都市・整備局） 2021年度予算：667,242千円、2022年度予算：598,236千円

都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、県民参加で実施する緑づくり活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援を図るための事業に要する経費を市町村に交付する。

区分	交付対象事業	全体事業量 (10年間)	2021年度計画	2021年度実績（見込み）		2022年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
身近な緑づくり	・市街化区域及びその周辺で既存樹林地の保全及び環境改善、延焼防止などの機能を有する <u>新たな緑地及び緑化施設の創出</u>	125箇所	5箇所	大府市、西尾市、刈谷市、みよし市（4市町）	4箇所	6箇所
緑の街並み推進	・市街化区域及びその周辺で民有地の建物や敷地の緑化を進めるために、市町村が定めた緑化施設評価認定手法に基づく、 <u>良好な緑化の創出</u> 、並びに既存民有樹林地を活用するための <u>園路整備等</u>	1,100件	133件	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、日進市、北名古屋市、清須市、東郷町、長久手市、一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町、愛西市、あま市、蟹江町、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、岡崎市、西尾市、幸田町、碧南市、刈谷市、安城市、豊田市、豊川市、田原市（36市町）	133件	144件
美しい並木道再生	・ <u>沿道又は近隣に公共施設（駅・公園・役場等）を有する市町村道及び県管理道路の美しい並木道を再生する。</u>	150箇所	19箇所	名古屋市、尾張旭市、一宮市、稲沢市、津島市、あま市、知立市、豊橋市、豊川市、蒲郡市（10市）	15箇所	17箇所
県民参加緑づくり	・公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ビオトープづくりなどの緑化づくり活動、体験学習や都市緑化の普及啓発の実施 ・市民団体等の活動に講師を派遣	1,010回	107件	名古屋市、春日井市、豊明市、日進市、清須市、長久手市、一宮市、犬山市、江南市、岩倉市、弥富市、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、東浦町、岡崎市、西尾市、幸田町、碧南市、安城市、知立市、豊田市、みよし市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市（29市町）	107件	110件

3 環境活動・学習等推進事業（環境局） 2021年度予算：73,115千円、2022年度予算：65,554千円

森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のためには、森林、里山林、都市の緑の整備・保全事業とともに、県民や地域との協働による取り組みの広がりが重要である。このため、多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO等を対象に企画提案型の交付金事業を実施し、活動に対する支援を行う。また、生きものの生息生育空間をつなぐ生態系ネットワーク形成の取組を推進する。

区分	事業内容	全体事業量 (10年間)	2021年度計画	2021年度実績（見込み）		2022年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
環境活動・学習推進	・NPO等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習への <u>交付金事業</u> ・講習会及び活動発表・交流会の開催	750件	75件	名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、田原市、北名古屋市、みよし市、長久手市、南知多町、美浜町、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村、武豊町、清須市、日進市、東浦町（38市町村）	106件	75件
生態系ネットワーク形成推進	・生態系ネットワーク形成の取組への <u>交付金事業</u> ・生態系ネットワーク形成の取組の成果を「見える化」する <u>生物多様性モニタリング調査</u>	70件	7件	知多半島地域（東海市）、東部丘陵地域（名古屋市守山区）、西三河地域（岡崎市、幸田町、みよし市、刈谷市）、新城設楽地域（新城市）、尾張北部地域（犬山市、小牧市、春日井市、瀬戸市）（5地域 11市町）	8件	7件

4 事業推進費（農林基盤局）

2021年度予算：53,083千円、2022年度予算：122,203千円

区 分		内 容	2021年度実績（見込み）
普及啓発事業	木の香る都市づくり	・県産木材を利用した多くの県民が利用するPR効果の高い民間施設等の木造化、内装木質化、木製品導入への支援	・採択施設数 6件 ・採択施設用途 オフィス、福祉施設、木育スペース等
	全国植樹祭開催理念継承イベント開催	・森と緑づくりに対する理解を深めるイベントの開催 ・全国植樹祭の植樹苗木のスクールステイの継承	・学校の樹木を活用した森と緑づくりの体験活動を実施（一宮市：1校、尾張旭市：1校） ・2022年度愛知県植樹祭で配布する苗木の育成を実施（豊山町：4校）
	森と緑づくり体感ツアー等	・あいち森と緑づくり税やそれを財源とした事業について広くPR ・森や緑の保全、活用の意義等についての普及啓発の実施（森と緑づくり体感ツアー、PRパンフレットの作成・配布等）	・体感イベント39名（昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体感ツアーに替えて、11/27(土)に県営大高緑地で開催） ・パンフレットやリーフレット及びポスターを増刷し、関係機関やショッピングセンター、コンビニに掲示依頼し、また各種イベント等でPRを実施
推進事務費		・あいち森と緑づくり委員会の開催 ・市町村説明会の開催及び事業調整等	・委員会 4回（内、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回は書面） ・説明会随時

5 「あいち森と緑づくり事業計画」に関する進捗

事業	区 分	10年間目標	1年目 2019年	2年目 2020年	3年目 2021年 (見込み)	4年目 2022年	5年目 2023年	合計 (見込み)
人工林整備事業	人工林整備(間伐)	16,000ha	1,199ha	1,122ha	1,282ha			3,603ha
	次世代森林育成	450ha	10ha	13ha	6ha			29ha
	少花粉ヒノキ採種園、広葉樹採種園の造成等	2棟 0.7ha	—	2棟 1.2ha	—			2棟 1.2ha
里山林整備事業	提案型里山林整備	40箇所	4箇所	3箇所 (ほか継続2箇所)	4箇所 (ほか継続3箇所)			11箇所
	里山林保全活用指導者養成研修	300人	33人	19人 ※新型コロナ影響により1コース中止	27人			79人
	地域活動団体ネットワーク形成	10回	1回	1回	1回			3回
都市緑化推進事業	身近な緑づくり	125箇所	8箇所	7箇所	4箇所			19件
	緑の街並み推進	1,100件	121件	136件	133件			390件
	美しい並木道再生	150件	11箇所	15箇所	15箇所			41箇所
	県民参加緑づくり	1,010件	118件	124件	107件			349件
環境活動・学習推進事業	環境活動・学習推進	750件	107件	96件	106件			309件
	生態系ネットワーク形成推進	70件	7件	8件	8件			23件
普及啓発事業	木の香る都市づくり	20件	8件	17件	6件			31件
	全国植樹祭開催理念継承イベント開催	—	イベント:2校 苗木スクールステイ:3校	イベント:2校 苗木スクールステイ:2校	イベント:2校 苗木スクールステイ:4校			イベント:6校 苗木スクールステイ:9校
	森と緑づくり体感ツアー	—	2コース1回:60人	1コース1回:40人 新型コロナ影響のため規模縮小し、体感イベント開催	1コース1回:39人 新型コロナ影響のため規模縮小し、体感イベント開催			3回 139人